

幹事会報告

平成12年度 関東同窓会総会開催等 今年度運営方針を協議

幹事長 用正 靖彦 (昭30年卒)

●秋の幹事会

協議事項

平成十一年十一月二十四日に神田学士会館において、長吉会長以下役員及び学年幹事22名の出席を得て、秋季定例幹事会が開催された。

冒頭、長吉会長より昨年の総会、懇親会が極めて盛大であったことに対し感謝の意を表され、続いて個別議題に移った。

着々と準備を進めております。開催日は七月一日(土) 会場はグラランドヒル市ヶ谷 (J-R総武線市ヶ谷駅下車徒歩5分)。

(一) 維持会員の拡充
近隣高校の在京同窓会より我同窓会が注目されている点の一つである維持会員制度が同窓会運営を安定的なものにしておりますが、維持会員数は横這い状況、口数は僅かながら減少傾向にあります。

維持会員の若い世代の方々が少なく、将来的にみて問題であります。

維持会員の滞納状況は平成十一年十月一日現在一二九名(金額で九九万五千円)で、未納者に督促の結果十一月二十四日現在十八万円の回収が出来ましたが、回収状況は昨年比に悪化しております。

会報や総会案内等が無駄なく行う為、会員の住所、勤務先等名簿に記載されている事項に異動があった場合は、会員又は学年幹事はすみやかに事務局へお届け願います。

維持会員の滞納状況は平成十一年十月一日現在一二九名(金額で九九万五千円)で、未納者に督促の結果十一月二十四日現在十八万円の回収が出来ましたが、回収状況は昨年比に悪化しております。

維持会員の滞納状況は平成十一年十月一日現在一二九名(金額で九九万五千円)で、未納者に督促の結果十一月二十四日現在十八万円の回収が出来ましたが、回収状況は昨年比に悪化しております。

●第三回竹田・東京懇談会開催

平成十一年十一月二十六日、第三回竹田・東京懇談会が日本パーカーライジング本社・会議室で開催された。

当会は郷里竹田の活性化、振興と関東の集いの発展を願う懇談会であります。

地元からは観光振興に新風を吹き込むべく設置した「竹田研



第3回 竹田・東京懇談会 (11-11-26)

究所」の常勤研究員に京都出身の中桐氏が決り、活動を開始。又竹田駅近くの竹田市役所跡地より温泉が湧出、温泉の採取権を貸与してもらい、観光の核にしよう」と計画中等々現状と種々の対策、施策の説明と討議が行われました。

総会と懇親会のご案内

乞ご期待!

第十四回 関東同窓会

日時

平成十二年七月一日(土)

受付 AM十一時半開始

場所
グラランドヒル市ヶ谷

●総会 ●懇親会 ●企画

当番幹事

第十一期 (昭34年卒)

第二十一期 (昭44年卒)

一、総会

・ 会務会計報告

・ 監査報告

・ 新年度の方針他

二、懇親会

当番幹事さんの企画によるアトラクション他。

尚、会場は学年別に椅子席を準備。先輩後輩

の交流にご期待下さい。

企画委員長

匂坂 慎輔

母校の現況と 今後の抱負について



校長 永松康士先生

同窓会の皆様、「こんにちは」。平素より母校に寄せられます数々のご支援に厚く御礼申し上げます。

特に、昨年は七月新宿のセンチュリーハイアットホテルにて百九十三名が集い関東同窓会、十一月には市内岩城屋で百四十六名が参集した本部同窓会、大分ソレイユで百名近くが懐かしい顔を確かめた大分支部同窓会、三十年振りに声を交わした卒業生もいたであろうと想像された卒業三十周年記念同窓会(獅子の会・昭和四十四年卒業)、四十名の卒業生が北九州に集まった第二十三回「福岡竹田会」等では大変お世話になりました。また、稲葉会を始め各地区の役員会における役員の方々の無償の奉仕の心に心から敬意を表します。

どの地区の同窓会でも「荒城の月」を歌い「母校・校歌」を合唱する「熱き思い」に心を打たれます。

さて、本校の現況について、

記述してみます。

●施設面では、パソコン四十一台の整備とインターネット接続による情報教育の推進、グラウンドに閉鎖式防球ネット設置、渡り廊下、体育館の補修工事、学校案内板設置、ラグビーゴールの更新等が出来ました。教職員も勤務時間を忘れて誠心誠意生徒の勉強、スポーツ等の指導に師弟同行の気持ちで努力しています。

●学校運営につきましては、県下有数の進学校として「文武両道」をモットーに地域との連携を保ちつつ教職員・生徒一丸となつて、県下をリードする学校として頑張っています。その成果は、本年も国公立百名、私立大学等二百名を越す合格をきつと出すであろうと予想されています。各地区の「同窓会総会」にて良い報告が出来るよう生徒たちも日々精進していることを確信しています。また少子化、生徒数の激減の中、逆に竹田高校は四十名の生徒定員増の決定を受けました。一学年六学級の適正規模の高校として、本校の実力が問われる二千年代に突入したとも考えられます。大学入試センター試験での成績も昨年同様良好成績を納めています。

受験態度も他校生と比較して風格さえ感じられ、これも長い伝統に培われた諸先輩方の残された「仰ぎて高し我が理想」の精神の一端かとも感じられます。

た。必ずや東京大学を初め名門大学へのパスポートを手中にしてくださいと期待しています。部活動も山岳部が八年連続全国大会出場、弓道部、男子九州大会出場、女子個人で一名全国大会・九州大会出場、陸上・走り高跳び全国大会出場、その他惜しくも県体育大会等で優勝は逸したものの本年度更に期待される部活動が体育部・文化部両方ともにあります。特に陸上・剣道・野球そして器楽部等をはじめ多くの部の活躍が期待されます。月に一回ないし二回の「全校朝礼」では、表彰関係の伝達に時間をさかれ、校長訓話の時間がいつも制限される程各方面で生徒は頑張っています。

●最後に成りましたが、「二十一世紀に求められる高校生像」は、現在日本の高校生像や世界の動向を深く深く思いを寄せますと、「個の確立」「共生の精神」「リーダーの資質」の育成にあらうかと考えます。確固たる自分を持ち、新しい物を創造する人、地球規模の大きい視野と心を持った人、組織のリーダーとしての資質を持った人の育成(高校生はその基礎作り)に学校・地域をあげて取り組みます。皆さんのご健康とご活躍を念じています。

●維持会費のご負担のお礼とお願い

*関東同窓会は、ご承知のとおり、維持会員の皆様の日頃からの、深いご理解とご協力に支えられて、同窓会の運営が安定的なあゆみが続けております。
*未済となつておられる方々には、何かと出費が多端の折かとも思いますが、ご負担についてのご協力方よろしくお願い申し上げます。

●平成11年度年会費納入者芳名簿

(平成11.4.1~12.3.31)「総務委員会」

お名前もれがありましたら、同窓会事務局までご連絡下さい。
TEL 0467(31)5715 FAX 0467(31)5715

「旧制中学の部」

- | | |
|--|------------------------|
| 昭和4年度 中川清次 | 昭和6年度 高橋キミ、室谷静子 |
| 昭和5年度 加藤郷一 | 昭和8年度 久保タケ、三宮静子 |
| 昭和6年度 山口 立 | 昭和9年度 阿南幸子、内山俱子 |
| 昭和8年度 阿南次夫、高宮 昇 | 昭和10年度 中込タキ子 |
| 昭和10年度 吉田 忠、渡辺正治 | 昭和11年度 飛田芳子 |
| 昭和11年度 田部 健、武藤省三 | 昭和12年度 上村良美 |
| 昭和13年度 小倉幸雄 | 昭和13年度 石井シズエ、倉田敏子、三代照子 |
| 昭和15年度 荒牧 治、須藤勲二 | 昭和14年度 石原田鶴子、小倉セツ |
| 昭和16年度 森下 亮 | 昭和15年度 植山素子 |
| 昭和17年度 高山英一 | 昭和16年度 広瀬尊子 |
| 昭和18年度 森 一郎 | 昭和19年度 中島正子 |
| 昭和19年度 甲斐武至、後藤忠士、服部舜次 | 昭和20年度 寺田タツ |
| 昭和20年度 阿部正之、足立五郎、伊東七五八、堀 健一、渡辺龍雄、伊東健二、吉良禮三、得丸大典、留高照幸、那須隆澄、前田 健、堀修一朗、栗生利信、家原和雄、池内勇吉、近藤秋男、布施泰義、和田真琴、渡邊真一 | 昭和21年度 得丸サヨ、村上福子 |
| | 昭和22年度 赤星春世 |
| | 昭和23年度 梶井和子 |

(稲葉会―石原代表)



会員特別寄稿

関東同窓会の皆さんとの絆を大切に

文学博士 茅野 良男

(昭17年卒)

大阪国際大学教授
大阪大学名誉教授



竹高元教諭 茅野先生

旧制竹田中学校の昭和十二年入学が当時の日支事変の、昭和十六年修了が大東亜戦争のそれぞれ開始の年でした。竹田中学校・竹田高等女学校・竹田商工学校が竹田高等学校に統合されたのは昭和二十三年四月です。竹田中学校の創立は明治三十年四月で、創立百周年記念式は平成九年九月でした。

大分県立竹田高等学校百年史はそれ故、大分県大分尋常中学校竹田分校・大分県竹田中学校・大分県立竹田中学校時代の五十二年間と、大分県立竹田高等学校の四十九年間とに二大割されます。前者の歴史には統合された学校の歴史が含まれません。

後者は専ら学年中の歴史となります。戦前の中学校の「修道会雑誌」や高等女学校の「稲葉」のような媒体による追跡は望めません。しかし緊密な横の連繋のとれた学年誌の発行がとりわけ高校の初期に多い事は、後者の今後の歴史への良い前兆でしょう。このきっかけとなったのも、旧制卒業者の学年の人たちによる会誌発行との事です。

竹田の近代化に関心を持つようになりました私にとって、旧制時代の『修道会雑誌』(明治三十七年三月第一号より昭和十六年四月第四十二号)は、竹田中学校の竹田の近代化への寄与に触れ得る指針となりました。ただし第七・八、第二十三・二十五、第四十号は未見であります。

そこで皆様方をお願いです。竹田にお戻りの折、御宅や御親族などで「修道会雑誌」の右に特記した旧号御所持の方がおありならば、ぜひともお知らせ下さい。

小生は大阪大学停年後、大阪国際大学に勤務、三月の末で教職をすべて退きます。ここ十数年、夏は竹田の代官町の小さな書庫で仕事を致して居ります。夏越祭から八月一杯の予定です。昨年は三月に文部省に参り、「荒城の月」につき陳情して来ました。ハイテガールの訳書「柚径」は、子供の頃遊んだ柚谷の尾根の小径に因んだものです。

「新制高校の部」

昭和24年度	安藤俊哉、真田次廣、新名義晴、中屋裕峻、平林龜四海、三宅英一	昭和29年度	秋吉政夫、瓦林義紹、工藤敏暢、小坂悌三、下川正見、田北元良、林 盛生、平本照磨、深田登子、八木国皓、山口雄三、吉川隆治、久保博紀、得丸郁子、小島妙子、山田百子、秋元幹夫、小代 孝、松岡靖雄、堀光 宏、足立 達	昭和34年度	志賀静江、片山 研、後藤大林、後藤恒嘉、武内英則、服部恭一、吉崎祥子、齊藤英昭、根本英子、市村真一、羽田芳郎、水野紀代子、山本登子、桑山政美子、阿南洋子、津下渥子、麻生三郎、大塚恵士、続幸二郎、兼島政治、加治久継、小代文喜、副田健治	昭和39年度	後藤 宏、堀 友朗、吉岡龍雄、角田 寛、河室公康
昭和25年度	飯倉一郎、本田仁夫、森 昭彦、森 義幸、田北 忠	昭和30年度	阿南惟正、安藤徹也、飯倉一郎、伊藤瑛介、今永博彬、牛島健一、大崎員雄、神田 清、吉良欣一、工藤勘吾、里見菊雄、志生野温夫、長吉 泉、浜田高盛、浜口鈴子、淵野 修、別府正克、後藤郁子、安藤 哲、大坪孝子、吉野昭重、重田英子、佐藤 収	昭和31年度	阿南 章、小代邦弘、後藤二生、生野良友、高橋 誠、辻 亨、利根範子、安井宏治、山口靖之、藤原保範、佐藤充子、三浦弘子、中野友幸、小代好枝、松良邦夫、大崎敏夫、佐藤勝教、大岩 泰	昭和40年度	大塚好美、羽立圭爾、今泉泰正、池田重和、首藤利幸、伊藤大義、後藤猛士、藤井正浩、後藤彰二、阿部英介、衛藤晶平、佐田俊一、中神幸彦、藤井恒雄、伊藤誠至
昭和26年度	飯倉一郎、伊藤瑛介、今永博彬、牛島健一、大崎員雄、神田 清、吉良欣一、工藤勘吾、里見菊雄、志生野温夫、長吉 泉、浜田高盛、浜口鈴子、淵野 修、別府正克、後藤郁子、安藤 哲、大坪孝子、吉野昭重、重田英子、佐藤 収	昭和32年度	阿南 章、小代邦弘、後藤二生、生野良友、高橋 誠、辻 亨、利根範子、安井宏治、山口靖之、藤原保範、佐藤充子、三浦弘子、中野友幸、小代好枝、松良邦夫、大崎敏夫、佐藤勝教、大岩 泰	昭和41年度	阿南裕康、河野精一、後藤猛士、藤井正浩、後藤彰二、阿部英介、衛藤晶平、佐田俊一、中神幸彦、藤井恒雄、伊藤誠至	昭和42年度	桑島輝茂、小島俊一、児玉幹生、真田正紀、羽田野寿一郎、橋本ともえ、堀 正孝、和田トモ子、佐田康子、青柳憲司、三代治次、佐藤美千代、和田和子、山本英次、石丸章代、西 純二、吉水小夜子
昭和27年度	甲斐智津子、金子一也、上村マサ子、高須敏士、工藤謙知、得丸正哉、後藤浩一、津田美枝、江崎和彦、篠島資裕、河野元義、坂本 勇、佐藤映之、中村シゲ子、堀 利巨、益永三生、古謝正祐、堀 博、麻生 巖、佐藤毅士、吉良アヤコ、西美智子	昭和33年度	志賀健三、佐藤敏一郎、古庄醇二、塔尾忠美子、牧 壮亮、立川美知、加藤興史、齊藤雅代、長田美貴子、北村竜男、佐藤朝生、森河 清、福田昭光、足立夫美、海野厚子、片山典子、志賀静江、片山 研、後藤大林、後藤恒嘉、武内英則、服部恭一、吉崎祥子、齊藤英昭、根本英子、市村真一、羽田芳郎、水野紀代子、山本登子、桑山政美子、阿南洋子、津下渥子、麻生三郎、大塚恵士、続幸二郎、兼島政治、加治久継、小代文喜、副田健治	昭和43年度	工藤三男、倉本正博、都 俊生、酒井真美子、菊地寛代子、高橋博子	昭和44年度	外村文宏
昭和28年度	江崎和彦、篠島資裕、河野元義、坂本 勇、佐藤映之、中村シゲ子、堀 利巨、益永三生、古謝正祐、堀 博、麻生 巖、佐藤毅士、吉良アヤコ、西美智子	昭和35年度	麻生三郎、大塚恵士、続幸二郎、兼島政治、加治久継、小代文喜、副田健治	昭和45年度	日高慶記、保坂斉子、佐保克彦、蓮池智子	昭和46年度	北島知恵
昭和29年度	秋吉政夫、瓦林義紹、工藤敏暢、小坂悌三、下川正見、田北元良、林 盛生、平本照磨、深田登子、八木国皓、山口雄三、吉川隆治、久保博紀、得丸郁子、小島妙子、山田百子、秋元幹夫、小代 孝、松岡靖雄、堀光 宏、足立 達	昭和36年度	松本雅愛、木村正毅	昭和47年度	小出裕子	昭和48年度	後藤祐治
昭和30年度	阿南忠義、大塚隆石、川合文彦、佐藤清八	昭和37年度	矢野千賀子、平井和子、大岡房子	昭和49年度	山部光男、渡辺泰徳	昭和50年度	右藤泰幸
昭和31年度	阿南 章、小代邦弘、後藤二生、生野良友、高橋 誠、辻 亨、利根範子、安井宏治、山口靖之、藤原保範、佐藤充子、三浦弘子、中野友幸、小代好枝、松良邦夫、大崎敏夫、佐藤勝教、大岩 泰	昭和38年度	朝見隆子、木内千草、熊谷克直、田北則夫、古川勝俊、高辻紀代、梶原克之、中野祐子	昭和51年度	岡田美樹	昭和52年度	
昭和32年度	阿南 章、小代邦弘、後藤二生、生野良友、高橋 誠、辻 亨、利根範子、安井宏治、山口靖之、藤原保範、佐藤充子、三浦弘子、中野友幸、小代好枝、松良邦夫、大崎敏夫、佐藤勝教、大岩 泰	昭和39年度	大坂好美、羽立圭爾、今泉泰正、池田重和、首藤利幸、伊藤大義、後藤猛士、藤井正浩、後藤彰二、阿部英介、衛藤晶平、佐田俊一、中神幸彦、藤井恒雄、伊藤誠至	昭和53年度		昭和54年度	
昭和33年度	志賀健三、佐藤敏一郎、古庄醇二、塔尾忠美子、牧 壮亮、立川美知、加藤興史、齊藤雅代、長田美貴子、北村竜男、佐藤朝生、森河 清、福田昭光、足立夫美、海野厚子、片山典子、志賀静江、片山 研、後藤大林、後藤恒嘉、武内英則、服部恭一、吉崎祥子、齊藤英昭、根本英子、市村真一、羽田芳郎、水野紀代子、山本登子、桑山政美子、阿南洋子、津下渥子、麻生三郎、大塚恵士、続幸二郎、兼島政治、加治久継、小代文喜、副田健治	昭和40年度	大坂好美、羽立圭爾、今泉泰正、池田重和、首藤利幸、伊藤大義、後藤猛士、藤井正浩、後藤彰二、阿部英介、衛藤晶平、佐田俊一、中神幸彦、藤井恒雄、伊藤誠至	昭和55年度		昭和56年度	
昭和34年度	志賀静江、片山 研、後藤大林、後藤恒嘉、武内英則、服部恭一、吉崎祥子、齊藤英昭、根本英子、市村真一、羽田芳郎、水野紀代子、山本登子、桑山政美子、阿南洋子、津下渥子、麻生三郎、大塚恵士、続幸二郎、兼島政治、加治久継、小代文喜、副田健治	昭和41年度	阿南裕康、河野精一、後藤猛士、藤井正浩、後藤彰二、阿部英介、衛藤晶平、佐田俊一、中神幸彦、藤井恒雄、伊藤誠至	昭和57年度		昭和58年度	
昭和35年度	麻生三郎、大塚恵士、続幸二郎、兼島政治、加治久継、小代文喜、副田健治	昭和42年度	桑島輝茂、小島俊一、児玉幹生、真田正紀、羽田野寿一郎、橋本ともえ、堀 正孝、和田トモ子、佐田康子、青柳憲司、三代治次、佐藤美千代、和田和子、山本英次、石丸章代、西 純二、吉水小夜子	昭和59年度			

(以上296名・1団体の皆様)

Now in Taketa

情報
たけた
Information

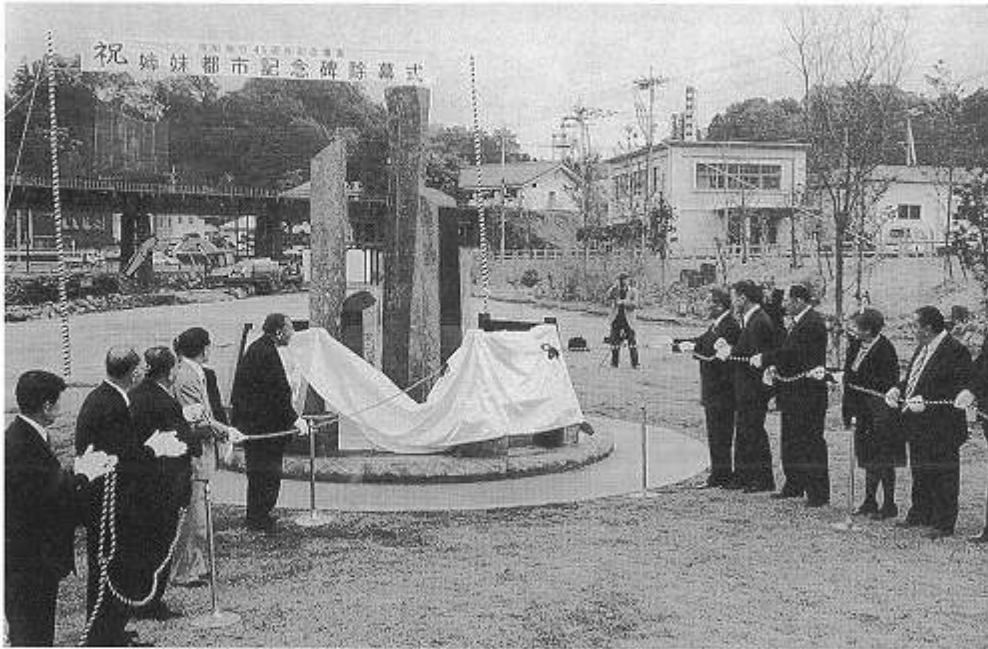
まちの
話題

活力ある21世紀に向かって!

☆故郷情報ふるさとを『盛り沢山に』

お届けしてみました

(竹田市提供「広報たけた」より)



▲固い友情の絆、姉妹都市記念碑が完成 (山手河川公園)

十一月十二日、竹田市制四十五周年と瀧廉太郎生誕百二十周年を記念して建立された「姉妹都市記念碑」の除幕式が山手河川公園で行われました。
また、翌十三日には記念式典が竹田文化会館で盛大に開かれました。



▲市制施行45周年・瀧廉太郎生誕120周年を祝う

「姉妹都市記念碑」除幕式は、パラグアイ共和国のサンロレンソ市、宮城県仙台市、長野県中野市、福岡県柳川市の四姉妹都市の市長ら代表者が出席して行われました。相互の固い絆と未来に向かって伸びゆく姿をイメージした記念碑は、高さ三・七メートルの自然石を、六本の石柱が囲んでおり、各姉妹都市の銘板が刻まれています。
市制施行四十五周年記念式典は、翌十三日に竹田文化会館で行われました。阿南市長は一四十五周年を契機に、ゆとり豊かさ、潤いと文化の薫る竹田市の実現を目指し、全力で取り組んでいきたい」とあいさつ。市政の発展の功労者である二十八人と九団体を表彰しました。



21世紀はまかせて! 子ども武者が出陣



▲子ども武者が勇壮に行進

十一月二十一日、竹田市制施行四十五周年記念事業の「子ども武者行列」が行われ、市街地から岡城跡まで勇ましく行進しました。
行列は子ども約百人。男の子は鎧かぶと、女の子は鎧になぎなたの武装で、午前十時半に旧庁舎跡地を出陣しました。
市街中心部や武家屋敷通りを抜け、岡城跡へ。沿道では盛んにシャッターを切る家族の姿も多く見られ、大手門前では、全員で記念撮影をしました。
終点の岡城西の丸では、子ども太鼓や子ども神楽、ストラックアウト等が行われ、賑やかな一日でした。

1999 たけた この1年

- 1月** ・ 県立竹田商業高校ワープロ部に竹田市文化功賞贈呈
・ 名曲「荒城の月」を21世紀に歌い継ごう竹田市実行委員会が発足
- 2月** ・ 「荒城の月」教科書存続について出版社に要望
- 3月** ・ 稲葉ダム損失補償基準書の刷印式
・ 「サリナス・名水美人もやし」系統販売7億円達成記念祝賀会
・ 県下のトップを切って地域振興券交付開始
・ 「竹田市いきいき定住促進条例」を制定
- 4月** ・ 学校統合で入田小学校と姫岳小学校が閉校式
・ 入田でコットン水車・農産物販売所落成式
・ 岡城跡まつり期間中、岡城跡で「21世紀に歌い継ごう・荒城の月を唄うコンサート」開催
・ 祖峰小学校、祖峰幼稚園開校式
- 5月** ・ 第1回市長選挙専竹田名水少年剣道大会開催
・ 「白水の溜め池」が国の重要文化財指定へ
・ 第13回フレンドシップフォース日本大会が竹田市で開催
- 6月** ・ 竹田水害緊急治水ダム建設協議会の設立
・ 竹田市農村女性集団連絡協議会の設立
- 7月** ・ 特産品カボスで作った「のんでカボスワインゼリー」を道の駅竹田で販売開始
・ 「荒城の月」を教科書に残すための署名が10万人を超える
- 8月** ・ 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より地下901mを掘削41.2度の温水湧出を報告
- 9月** ・ 竹田研究所に常勤研究員(中桐充彦氏)が就任
・ 第52回大分県民体育大会で竹田市は総合14位でC部優勝
・ 市議会に温泉開発調査特別委員会を設置
・ 台風18号で、農地、農作物に大被害
- 10月** ・ 岡城跡大手門櫓模倣復元竣工式、一般公開展示
・ ヤン・シンシン胡弓コンサート
・ 第60回大分県畜産共進会において竹田市出品の2頭が最優秀賞に輝く
・ 稲葉ダムの関連工事安全祈願祭
・ 安永徹、市野あゆみデュオコンサート
- 11月** ・ 市制施行45周年姉妹都市記念碑除幕式
・ 市制施行45周年・瀧廉太郎生誕120周年記念式典
・ 第11回穴森サミットが竹田市で開催
・ 子ども武者行列開催
・ 園田高広ピアノコンサート
・ ご長寿夫妻を祝う会
- 12月** ・ 第12回県都市対抗女子駅伝競走大会において、竹田市が大会新記録で初優勝を飾る
・ 竹田市立図書館90周年記念式典

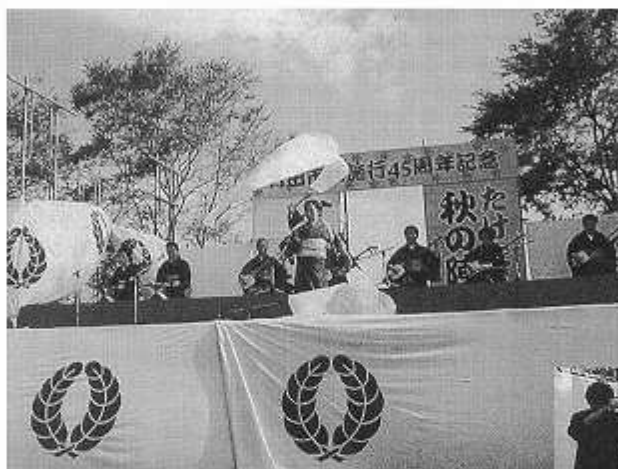
'99 竹田市の1重大ニュース発表!

- ①竹田市制45周年・瀧廉太郎生誕120周年記念行事が、盛大に開催。ヤン・シンシン胡弓コンサート、姉妹都市記念碑除幕、子ども武者行列、ご長寿夫妻を祝う会等
 - ②名曲「荒城の月」を21世紀に歌い継ごう竹田市実行委員会が発足。教科書に残すための署名が10万人を超える
 - ③学校統合で入田小学校と姫岳小学校が涙の閉校。祖峰小学校、祖峰幼稚園が新たな歴史へ
 - ④岡城跡大手門櫓模倣復元で、観光客が大幅増加
 - ⑤ついに竹田市に温泉が! NEDOが旧市庁舎跡地で温泉湧出を報告
 - ⑥第12回県都市対抗女子駅伝競走大会において、竹田市が大会新記録で初優勝を飾る!
 - ⑦「白水の溜池」が国の重要文化財に指定
 - ⑧長雨や台風16号、18号で農地、農作物等に大被害
 - ⑨稲葉ダム損失補償基準の決定と関連工事の本格的な着工
 - ⑩第52回大分県民体育大会が豊肥地区で開催。竹田市はC部優勝でB部昇格
- ※市四役や市議会議員ほかのみなさんに投票してもらい、今年の10大(重大)ニュースを選びました。あなたが選ぶニュースは入っていますか?



瀧廉太郎先生を 偲ぶ音楽祭

「第五十一回瀧廉太郎先生を偲ぶ音楽祭」が十一月一日、竹田文化会館で開かれました。市内、直人郡内幼稚園、小・中学校から約二千人が参加。息のあった合唱や合奏を披露すると、会場を埋めた観客からあたたかい拍手が贈られました。



華やかに 芸能祭

竹田市制施行45周年の記念芸能祭が11月14日、岡城西の丸特設舞台で開かれました。

太鼓や太極拳、舞踊、詩吟、民謡、パレエなど多数の団体が参加し、秋晴れのもと盛大に行われました。



▲神秘的な太極拳



▲きむれ城趾公園まつり

「きむれ城趾公園まつり」が11月14日、竹田市街や四方の山々を見渡せる騎牟礼城趾公園で行われました。舞台では神楽やカラオケなどが催され、地域のみなさんは秋の一日を満喫していました。

燃える!!

クラス会・同期会

クラス会 事務局よりの一報

赤座 昭義(昭23年卒)
粟生 利信(昭23年卒)

同級生各位
ご夫人各位
竹中48(S23卒)、竹高1
(S24卒)期クラス会
日時 H10・11・17
場所 京都嵐山温泉嵐峽館
参加者 48名(別紙のとおり)

拝啓

クラス会で一別以来、急激に寒波が接近し、歳の瀬らしくなってきました。

さて、ご多忙のところ、五十年振りの再会者も何人かいます、一入、感慨深く思いました。

特に、ご夫人方が十二名もご参加いただいたことは、クラス会としては初めての試みであっただけに、男ばかりの会と異なる和やかさと艶やかさがありまして、熟年の会として成功であったと自賛して



迎会クラス会期高竹48中竹



竹田高校第1期クラス会
平成10年11月17日 嵐山温泉嵐峽館

保津川下り

次会は「故郷の竹田で」と考えていますが、都合によっては、別府あたりで、ゆつくり温泉に浸っていただくのもよろしいかと考えたりにしてあります。いざれご意見をいただいで企画致します。

それから、お待兼ねの記念写真が到着致しましたので、お送りかねてご参加いただきましたお礼の挨拶と致します。

来年は、十分鋭気を養って頂き、今世紀最後のクラス会に達者で、全員がご参加頂けるよう、お互い健康に留意され、ご精進されますようお祈り致します。



東京二六会例会 [11-11-19] 於 ゆうぽーと

二六会(東京) 平成十一年度例会

杉本 章子(昭26年卒)
日小田秀幸(昭26年卒)

最後になりましたが、京都集会の幹事を、快く引き受けてお世話くださった、小野・栗本・原田・鎌小野・田近の諸兄に、深甚なる感謝の詞をお贈りします。

「ご苦労様でした。とても楽しい一泊二日でした。」 敬具
平成十年十二月十一日

二〇〇〇年 二六会全国大会(於東京) 開催が決まる

平成十一年十一月十九日(金)、ゆうぽーと(大崎広小路)にて東京二六会が二六名の参加で和気あいあいの内に開催された。

尚この席上、来年の二六会全国大会(於東京開催)につき高山会長を中心に検討され、大いに盛り上がった。

最後に次期世話人として渡辺敏子・牛島健一氏にお願ひ致し、中締めとして卒後五十年、素晴らしい二〇〇〇年を「お互いが元気に迎えよう」と固く誓いあい、それぞれが家路についた。

竹菁会

平成十一年度例会

後藤 浩一(昭27年卒)

日本晴れの平成十一年十月二十三日、平成十一年度在京同期生の集いが新橋「新橋亭新館」で開かれた。

幹事諸氏の意向で、今年は無東在住者以外にも広く呼び掛け、会長土居平治君を初め、竹田、大分、京都、宝塚、長野等の府県市から多数の参加者があり、出席者総勢四十五名を数える盛会となった。

正午丁度、当番幹事の加藤憲明君の司会で会が始まった。同君の外、津田美枝、後藤しの美、



「竹菁会 平成11年度例会」 於 新橋亭新館

谷哲夫、片岡正次君の諸氏に今年の幹事として「ご苦労を願った。

会の初めに、前幹事から持越の「訃報が届き始めた物故者への弔慰金問題」をどうするかが議題に登り、種々意見交換の上【会としての対応はしない事、会員個々人の判断に委ねよう。従って集金等はしない、但し連絡は密に行なう】で全会一致を見た。恒例の校歌斉唱、一本閉めの後、四階に席を移し、二次会のカラオケで又、盛り上がる。毎夜杯を手に月謝を払っている所為か、皆さんの歌の上手い事に驚く。

因みに、会費(男女同額で八千円)、二次会費三千円であった。

ふるさと名所紀行

～普光寺磨崖仏(朝地町)～



普光寺の磨崖仏と周辺の風景

佐藤 毅士 (昭28年卒)

紫陽花のふるさと

普光寺磨崖仏(大分県朝地町)

私たちの高校生時代は道路事情など交通の便も悪く殆んど知る事の出来なかつた朝地町の秘境に日本最古の磨崖仏が悠然と鎮座している。JR豊肥本線朝地駅で下車してタクシーで約十分、深山幽谷という言葉がぴったりの地に名利普光寺はある。

この普光寺は西暦五八三年、敏達天皇の時代に、日羅によって開山されたと伝えられ、真言宗古義派の霊場であった。平安時代は莊司、大野氏、続いて鎌倉期には、岡城に居を構えた地頭志賀能郷の庇護によって大きく発展した。江戸時代に入り中川氏三代 久清は、岡城の鬼門にあたるこの普光寺を真言宗の密教寺院として、手厚く保護し、地域住民の信仰を集めて栄え現代に至っているのである。

宏大な境内にある磨崖仏は県指定史跡にもなっているが中心にある不動明王は高さ十一・三メートル、眼光は鋭く、憤怒の形相である。左に制陀迦、右に矜羯羅といずれも五メートルの童子を従えて鎮座している。昭和五十七年には、朝地町の人たちが、この歴史ある古刹と磨崖仏の保全のために会を結成。出来るだけ多くの人に寺を訪れてもらおうと、アジサイを植えることにし、現在では三千株にのぼるアジサイの花園となり、毎年六月下旬から七月にかけてあじさい祭も催され、うつとおしい梅雨の季節に美しい彩りを添えている。

この模様は、昨年五月小学館発行の雑誌「サライ」でも、旅の企画「誰も行かない日本一の風景」「絶景」として掲載され、宮嶋康彦氏の美しいカラーページで全国で紹介された。これからは奥豊後の秘められた歴史事跡として磨崖仏研究の専門家や、旅行愛好者の注目を集めよう。

平成十一年度竹田会 総会・懇親会 大盛會裡に開催

平成十一年十一月二十六日(金)
於 中野サンプラザ

田部 修士(昭42年卒)

平成十一年十一月二十六日(金)、中野サンプラザ・10F芙蓉の間において午後6時から総会・懇親会が開催された。

来賓には、阿南肇竹田市長、高橋収入役、古井市議会議長、加藤往生商工会議所相談役、姫野商工会議所会頭、亀島氏(医療法人雄仁会)、普観光協会の会長、板井商店街連合会副理事長、後藤商店連合会副理事長、佐野文夫大分県人社編集長を迎えて総勢133名に上る盛大な会となった。



新会長 里見菊雄
挨拶の就任

司会は志生野温夫氏が担当。初めに、参加者全員で、急逝された里見前会長他99年中の物故会員7名の冥福を祈り、黙祷を捧げた。続いて、山口副会長から新会長・里見菊雄氏の紹介を受けた。里見新会長は、10月に開催された山水会(竹田会役員



大盛會の総会・懇親會場風景
〔阿南市長他郷土からのご来賓〕

会)にて、推薦されたが、ご本人が固辞された為、急遽幹事会を召集し、やっとご本人の了解を得ると共に満場一致で新会長が決定された経緯について報告があった。里見新会長は、「何でも竹田第一であった初代里見会長のご意向と自分も若き中学時代を竹田で過ごしたことを大切に思い会長を引き受けさせて頂きました。」「世の中経済的に大変厳しい状況が続いていますが、役員諸氏並びに事務局の面々と協力して益々盛会となるよう頑張ります。」と力強い挨拶があった。

※次頁に続く



※前頁から続き

来賓の阿南市長は、「関東の竹田会が年々盛会で喜ばしく思う。市制四十五周年、滝廉太郎百二十周年記念に際して全国から沢山の激励を頂戴している。地元としても過疎からの脱却に頑張っています。」と決意を述べられた。また、市政についても、大分熊本間の広規格道路計画の進行状況、稲葉ダム着工、旧庁舎跡地に湧出した温泉の開発計画等詳細に(多少長めの)報告があった。

後を受けて、姫野商工会議所会頭は、急逝された里見前会長への哀悼の意を表するとともに竹田市へ寄せられた絶大なご支援、功績を称えた。

「市役所跡地の温泉開発については、地元にとって明るい兆しであり、広く意見を求めて市の活性化に繋げていきたい」と挨拶された。

続いて、加藤商工会議所相談役の発声で一同乾杯、懇親の宴にはいった。

会食懇談の途中で、遠路竹田市から上京された来賓諸氏の紹介、阿南議員の挨拶の後、恒例の福引き抽選会がにぎやかに行われた。

今年も長さ1メートルを超える自然薯に人気が集。数々の賞品と当選者を巧みに紹介された志生温アウンサーの司会とで会場は大いに盛り上がった。

訃報

慎んでお知らせ申し上げます。心からご冥福をお祈り致します。

物故者御芳名

- 阿部 恒憲様(昭24年卒) 平成11年5月13日 没
- 野口トシ子様(昭6年卒) 平成11年7月25日 没
- 内川三代子様(昭38年卒) 平成11年10月23日 没
- 西田 隆様(昭6年卒) 平成11年12月8日 没

掲示板

●買方のスペースです

「関東同窓会の皆さんへのお祝い!!」

茅野 良男(昭17年卒)

『修道会雑誌』(明治三十七年三月第一号より昭和十六年四月第四十二号)のうち左記第七・八、第二十三・二十五、第四十号は未見であります。旧号御所持の方がおありならば、ぜひともお知らせ下さい。皆様方にお願ひ致します。

自宅

〒658 086 神戸市東灘区御影山手一丁目二番〇〇 メゾン白鶴八〇六号
電話(〇七八) 八二一七五三八

詩歌・文芸

手を引いて「ぞーたん」の画面に連れてゆく

光飛ぶ稚子の声かな秋の昼

舞ふ銀杏ワーツワーツと呼ぶわらべかな

十二年元旦 佐藤 興文
(昭26年卒 O・S生)

未来の素材に、
Superface

日本パーカライジング株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-15-1 TEL. (03)3278-4357

会員の皆様へ
お知らせ!!

◎第十四回

関東同窓会総会

日時・平成12年7月1日(土)
受付 AM11時30分
場所・ランドヒル市ヶ谷

◎二五会全国大会

卒後50周年記念
「竹田大会開催」

日時・平成12年11月4日(土) 5日(日)
場所・久住高原荘 (久住)

◎二六会全国大会

「東京大会開催」
日時・平成12年11月7日(火) 8日(水)

場所・フォーシーズンズホテル (目白)
連絡・詳細別途通知

◎二八会全国大会

「近畿大会開催」
日時・平成12年11月9日(木) 10日(金)
場所・有馬温泉 向陽閣 (兵庫)

連絡・近畿二八会 井原迄
(06) 6931-8204

あとがき

新「ミレニアム」二〇〇〇年を迎え、お陰様で同窓会報臥牛も21号を発行することが出来ました。ご支援の程委員一同感謝申し上げます。

併せまして、紙面の都合で「随筆欄等」一部の原稿が次回送りになりましたことをお詫び申し上げます。

※若い世代の皆様へ
「投稿をお待ちしています。」

「クラス会情報」や「特別寄稿」等々ご投稿を特に期待しております。



・投稿内容

- ①クラス会情報
- ②故郷の便り
- ③海外便り
- ④会員の語らい
- ⑤詩歌・文芸
- ⑥会員の催し
- ⑦会員消息
- ⑧その他

・連絡先

〒279-0022
千葉県浦安市今川2-10-31
神田 清 宛(広報委員長)
☎047-354-9456